



ホームドア整備における 課題等の共有

1	東日本旅客鉄道株式会社	…	2
2	東武鉄道株式会社	…	3
3	西武鉄道株式会社	…	6
4	京王電鉄株式会社	…	7
5	小田急電鉄株式会社	…	9
6	東京都によるヒアリング結果	…	11

今後のホームドア整備における課題等の共有

1 令和10年度末のホームドア整備目標達成に向けた課題

- 現時点では具体的な課題は生じていないものの、中東情勢の悪化により、石油製品(塗装、樹脂材料等)に関する材料不足が懸念されている

2 整備目標達成に向けた工事等における工夫 ～ホームドア搬入方法の更なる工夫～

- 過年度の検討会において「保守用車・軌陸車を活用したホームドア導入」の事例を紹介しました(右図参照)
- 今後整備数が増加し、工事の輻輳に伴って保守用車等の運用調整が困難になる場合が想定される

保守用車・軌陸車を活用したホームドアの搬入

<概要>
・保守用車、軌陸車を活用したホームドアの搬入

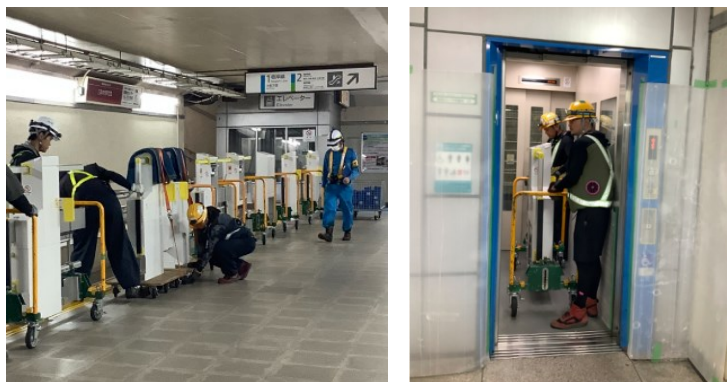
<背景>
・ホームドアの導入当初、営業列車を使用して搬入を実施しましたが、列車ダイヤや予備車両との調整・関係による搬入日の制約、搬入延期となった場合の再調整等に課題があった
・ホームドア設置ベースの増加に鑑み、柔軟に搬入方法を選択できるよう「保守用車(十専用の運搬台車)」や「軌陸車」を活用して搬入を実施してきた ※ 2010年 山手線黒川有明・目黒駅で実施

<効果>
・現在も、整備駅や線区の周辺環境・施工条件に合わせて「保守用車」「軌陸車」を柔軟に選択し、効率よく搬入できるように計画・整備を進めている

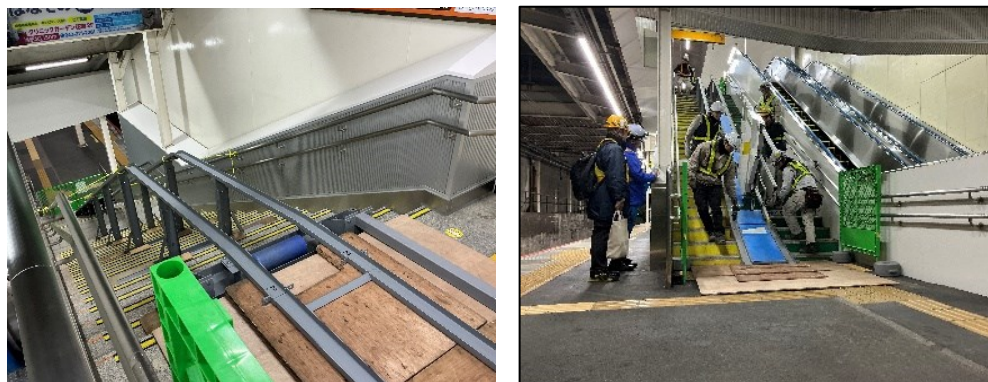
保守基地での積込 保守用車による運搬 軌陸車による運搬 対象駅での設置作業

整備目標の達成に向けて搬入方法の選択肢を増やしており、「エレベーター」や「階段」を活用した機器搬入を試行しました
全体最適となる搬入方法を選択し、整備を推進します

エレベーターを活用した機器搬入



階段を活用した機器搬入



2. 今後のホームドア整備における課題の共有について

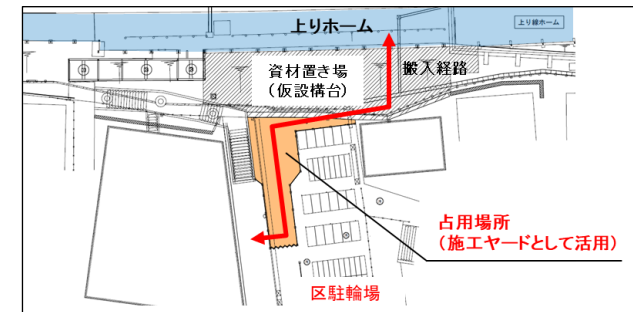
◎ 2028(R10)年度末の目標達成にあたり

現在、計画どおり順調に工事が進捗している状況であり、現時点においては、**2028(R10)年度末までの目標は達成できる見通し**である。

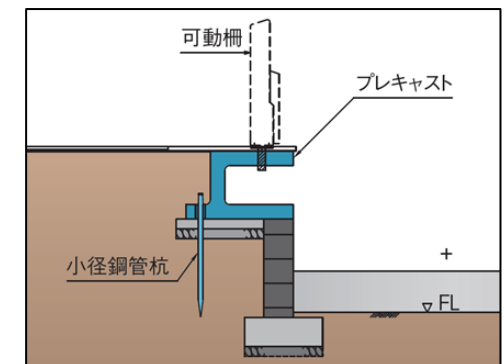
◎ 人的・技術的等の取組みにより工期短縮を図り、加速的に整備を進めている。

- ホームドア整備に専任する技術系職員を増員し、整備加速体制を構築している。
- 都内駅では、早期に調査・設計に着手し、複数の設計会社と業務委託契約することで、複数駅並行して設計を進め、滞りなく工事着手できるようにしている。
- 夜間作業の立ち合いについては、鉄道施設保守業務を行う完全子会社の吸収合併により、立ち合いを行える人材を確保している。
- 施工場所付近の公有地を占有し、施工ヤード（搬入路、仮設構台設置の施工ヤード等）として活用することにより、工期短縮を図った。
- ホーム柵（可動式）の基礎に既成品を採用することにより工期短縮を図っている（C型ホーム基礎）。

【東武練馬駅 施工ヤードイメージ図】



【C型ホーム基礎】



出典：大鉄工業株式会社HP
[0bc63243ad7e2cad5b5f037e8c3fa017.pdf](https://www.daito.co.jp/0bc63243ad7e2cad5b5f037e8c3fa017.pdf)

2. 今後のホームドア整備における課題の共有について

◎ 2028(R10)年度末の目標達成にあたって今後想定される懸念点

外的な要因として、中東情勢の悪化の影響等により、各種部材の納入時期の遅れに伴う工期の長期化や工事費が高騰するリスクが想定される。

加速化したスケジュールを
着実に実行するため、ご支援いただきたいこと



➤ 技術者の人的支援

- ・ 工事の計画、設計、工事発注、施工監理、夜間工事の立ち合い等を行える外部技術者による業務支援。

➤ 施工ヤード確保の協力

- ・ 都内駅は、鉄道用地が限られており、施工ヤード（搬入路・資材置き場）の確保に苦慮することから、都、区所有地の占用について協力。

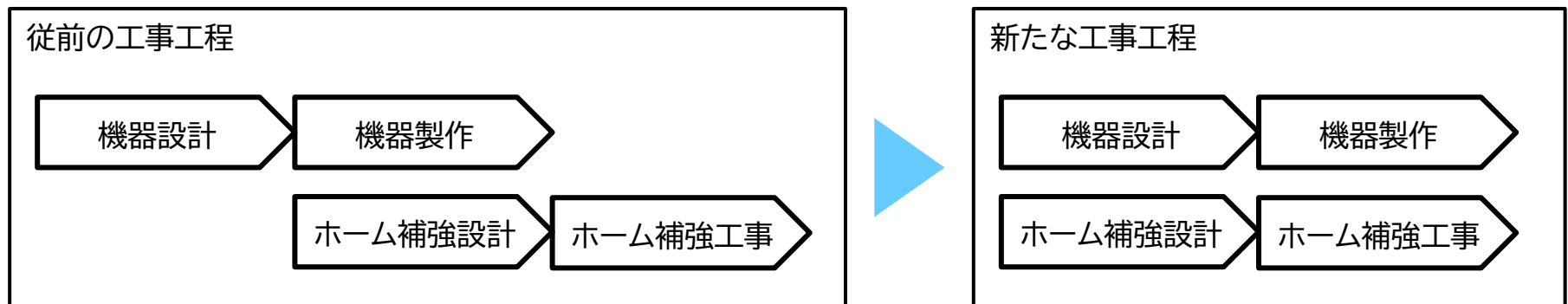
➤ 施工会社作業員の人員不足への対応

1. 令和10年度末の目標達成に関する課題

- 現時点で課題は無く、令和10年度末には当初計画通りの整備(19駅57番線)が完了する見込み
- 一方、今後中東情勢が長期化する場合は、一部資材の不足による工程影響も懸念される。
(長期化した場合は、令和9年度、10年度施工分へ影響)
※影響が懸念される資材：各種ケーブル、塗料、有機溶剤、樹脂類
- 他、銅価格の高騰による整備費上昇も懸念している。(ただし、工程への影響は無い。)

2. 工夫事例

- これまで、機器設計およびホームの荷重条件算出を完了した後に、ホーム補強設計を行っていたが、設計工程の短縮を図るため、機器設計とホーム補強設計の間で情報共有・調整を密に行い、両設計を並行して進めることにより、工事期間の短縮を図っている。

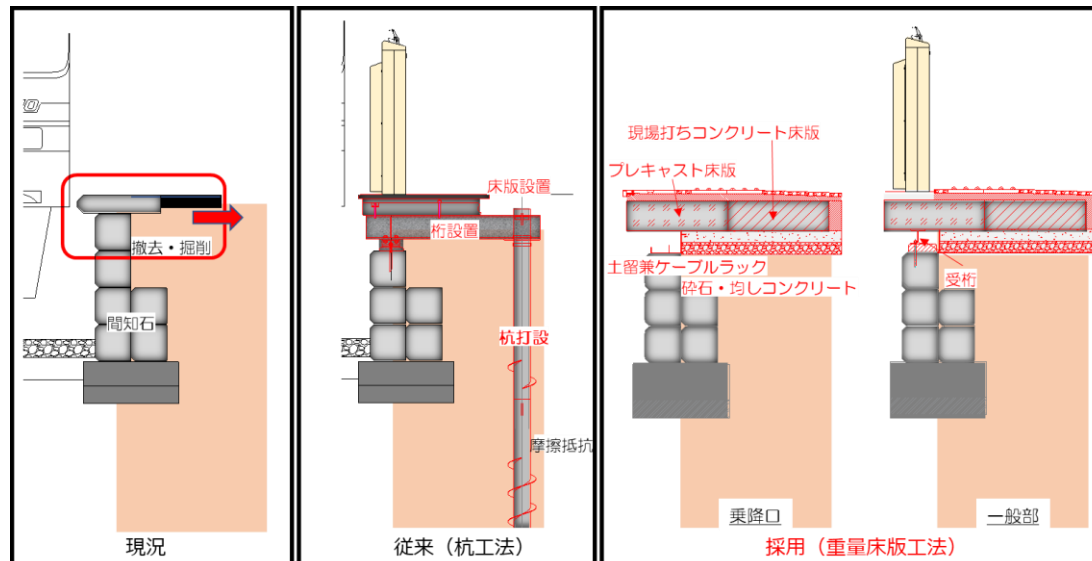


1 令和10年度末のホームドア整備目標達成に向けた課題

令和10年度のホームドア整備目標に向け、順調に進捗しており、現時点では課題は発生していない。
ただ、現時点では影響がないものの、昨今の中東情勢の悪化に伴い、メーカーからは塗料、樹脂系材料が不足する可能性があることを示唆されている。

2 工期短縮や材料、工事等における工夫点

石積・盛土ホームにおける施工への工夫



○重量床版工法の採用理由

軌道上からの機械による杭工事では、**ホーム上家がある関係で空頭が確保できず杭の分割数が多くなること**、**盛土ホーム内の埋設支障物等の障害**が課題になっており、**杭を用いない可動式ホーム柵の設置方法を採用**した。

工期短縮や材料、工事等における工夫点

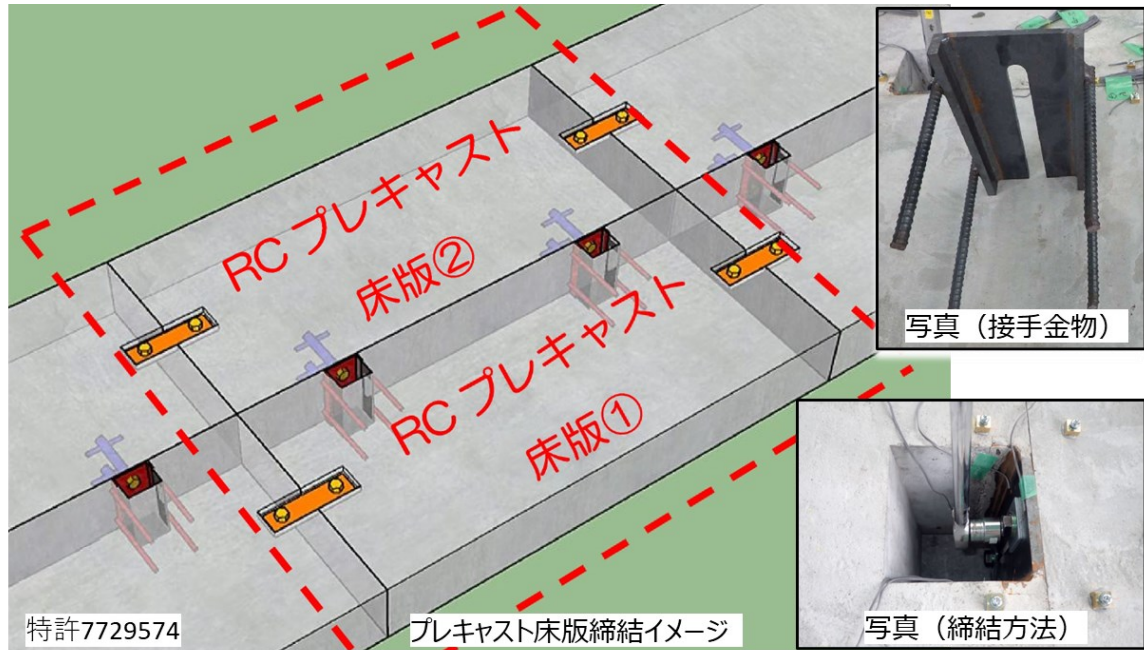
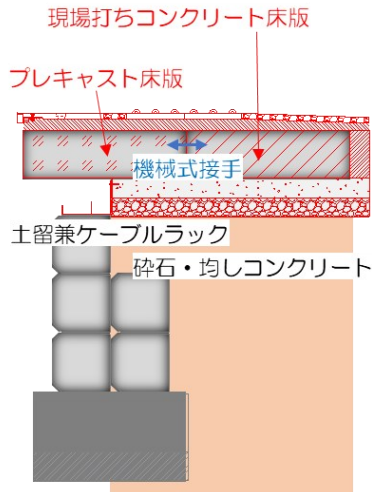


○重量床版工法採用にあたっての課題

軌陸クレーンで床版を敷設するため吊り上げ重量が制限され、床版を分割施工し一体化させる必要があったが、一体化させるための製品は機械式接手しかなく、**プレキャスト床版+現場打ち床版の形状としなくてはならなかった。**

○メーカーと共同で接手を開発

メーカーと**プレキャスト床版同士を締結する接手を開発**し、実証実験を行い採用した。また、併せて特許及び意匠権を取得している。これにより、**現場打ち床版の型枠・鉄筋組立・コンクリート打設工事を省略**することが出来、**盛土ホームにおいて1ホーム/1~2か月の工期短縮を実現**している。**【3駅（新代田・西永福・井の頭公園）6番線で採用】**



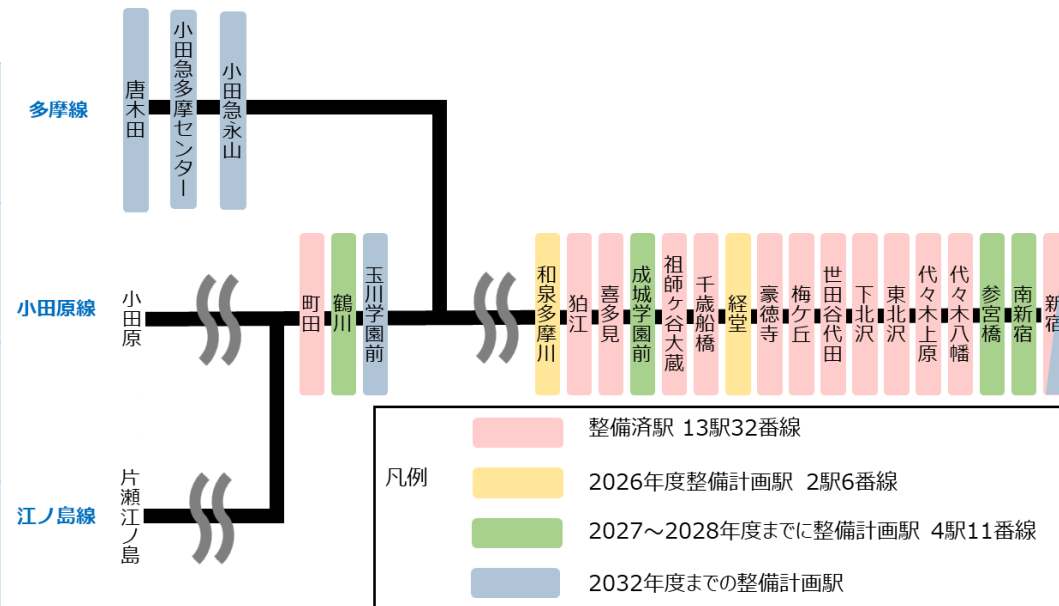
ホームドア整備の進捗状況と今後の計画

■ホームドア整備の進捗状況

「ホームドア整備加速緊急対策事業費補助金」等を用いて、ホームドア整備計画は現時点において順調に進捗している。

2025年度整備済み駅	豪徳寺、千歳船橋、 祖師ヶ谷大蔵、喜多見、 狛江
2026年度整備予定駅	経堂、和泉多摩川
2027年度整備予定駅	南新宿、成城学園前、鶴川
2028年度整備予定駅	参宮橋

※神奈川県内駅は除く



※2032年度までの整備計画駅に、
小田急永山駅、小田急多摩センター駅、唐木田駅を追加

ホームドア整備における工夫点と今後の課題

■ 目標達成に向けた工夫点

ホームドア整備を計画通り実現するため、下記の工夫を実施している。

- ・可能な限りの早期発注や一括発注の実施
- ・工法の見直し等による、工期短縮の実施

工法見直しによる工期短縮の例：ホームドア表示灯の筐体内蔵化

概要：従来、車掌位置ごとにホーム屋根から吊り下げていたホームドア表示灯について、メーカーと協力し筐体に内蔵する仕様に変更

効果：吊り下げに伴う強度計算・設計、ケーブル等の材料、施工の手間を削減

写真：



■ 将来的な懸念事項

資材高騰や人手不足等を一定程度織り込んだ整備計画を策定しているが、中東情勢等の想定外の事象の発生により、一部材料の納期が長期化している。

今後、こうした状況が継続した場合、将来的に工期の遅延につながる懸念がある。

東京都によるヒアリング結果

ホームドア製造元へのヒアリング結果 1 / 2

- 昨今の中東情勢、資材高騰や人手不足等によるホームドア整備計画への影響を把握することを目的として、令和8年5月、主要なホームドアメ製造元4社にヒアリングを実施

(1) 社会情勢の変化等によるホームドアの製造に対する影響について

コスト面 (価格転嫁の有無は問わない)

選択肢	回答数
1 大いに影響ある	2
2 やや影響ある	2
3 どちらともいえない	0
4 あまり影響はない	0
5 全く影響ない	0

納期面

選択肢	回答数
1 大いに影響ある	2
2 やや影響ある	2
3 どちらともいえない	0
4 あまり影響はない	0
5 全く影響ない	0

- 塗料や接着剤等に供給不可もしくは納期遅延が見込まれ、代替調達によりコスト上昇
- 板金類、機械加工品、樹脂成型品、ケーブル類等で大幅に価格が上昇
- 人件費の上昇に加え、中東情勢に係る価格改定が多数
- 塗料、シンナー、樹脂等が値上がり

- 納期が全く見えないもの、夏以降の入手の見通しが立たない資材がある
- AI需要の増により、半導体が長納期化
- 塩化ビニルや接着剤等の樹脂成型品及びゴム加工品に受注停止や納期遅延が発生
- レーザ加工、溶接等に必要なガスや塗装に必要な石油系資材の入手が難化

ホームドア製造元へのヒアリング結果 2 / 2

(2) ホームドアの実勢価格について

- 昨年より資材費、加工費が上昇している中での更なる資材費高騰。このままでは価格改定を検討せざるを得ない
- 様々な部材のコスト上昇によりホームドア全体としても上がっている印象
- 銅相場高騰によるホームドア用のケーブルやアルミ相場高騰による扉の影響で上昇が大きい。また、人件費や輸送費も上がっており、従来価格の維持は困難
- 装置本体、現地工事ともに上昇

(3) 令和10年度末までに整備予定のホームドアの納期について

- 現時点では、計画どおり納品できるよう調整を進めているが、今後はリスクがある
- 現時点では計画どおりだが、中東情勢が長期化すれば、納期通りに納入できない可能性
- 中東情勢の影響で一部部品の入手状況が悪く、今年度の下半期納品の案件から影響

(4) その他

- 早めの計画ご提示、注文の早期化により、可能な限りご希望納期に対応したい
- 施工、調整に関わる資格者や協力業者の確保が必要
- 情勢に応じた適正な価格、納期で納品ができるよう、引き続きのご配慮を要望
- ホームドアの設置は土木工事の影響を大きく受けるため、ホームドア製作が計画納期通り完了したとしてもホームに設置できない状況が近年増加しており、追加対応に苦慮
- 人員不足による現地作業要員の確保に懸念

まとめ

- 社会情勢の変化等による影響がある中においても、着実にホームドア整備を進めていくことが重要
- 引き続き、情勢を捉えながら、課題や工程への影響を共有し、適切に対応



- 現時点で直ちに納期への深刻な影響はないが、今後、中東情勢が長期化した場合に大きな懸念
- ヒアリングからは、早期発注が納期に関するリスクを軽減する可能性が示唆
- 一方、土木工事の遅れによるホームドア設置工事への支障も指摘されており、工種の異なる工事間の連携も重要
- 各事業者におかれては、取り得る対策を幅広くご検討の上、工程の確保をお願いしたい
- ホームドア整備の工程に遅延の懸念が生じた場合は、早めにご相談願いたい